

城址の丘

吹上中学校 教育スローガン

夢 努力 思いやり

笑顔と感動あふれる吹上中

吹上中学校だより

令和4年10月号
文責:校長 北條
ホームページQRコード



“いぶき”祭(10/21)へ向けて ～全校生徒が主役～

本校の少し東に、現在は廃寺となっています「善応寺」があります。この裏手、吹上中学校あたりも含めました山嶺一帯を指して、昔から『伊吹(いぶき)山』と呼ばれているようです。それにちなみまして、本校では体育祭を「いぶりニック」、文化祭を「いぶき祭」と言っています。また、本年度の生徒会スローガンは『自分らしく』です。一人一人が生徒会の一員であることを自覚し、一人一役の役目を果たしたり、学校行事等で全校生徒が主役となれるよう力を合わせて盛り上げたりできるようにと思いが込められています。さらに、本年度も継続して、生徒会が中心となり『いぶき運動』を展開しているところです。

さて、本年度は体育館改修工事に伴い、例年とは違う「いぶき祭」になります。オープニングやクロージング、いぶステ等はリモートで実施いたします。また、部門ごとの発表ができないため、クラス発表になります。クラス発表では、ゲームや秋祭り、ダンスやミュージカル、映画制作や舞台とそれぞれの教室でクラスごとに趣向を凝らした発表を行います。2学期に入りまして、本格的に話し合いが行われ、現在、準備が着々と進んでいるところです。残念ながら1学期に合唱コンクールが中止となってしまい、

クラスが一つになって取り組める最後の行事ということで、楽しみにしている生徒も多いようです。

最近あまり聴く機会がなくなってしまった本校の校歌ですが、「みのりゆく友情」とありますよう、この緑豊かな伊吹の山を背に、いぶき祭で更にクラスの絆を深め、吹中生一人一人にとって永遠の思い出になることを期待しています。

『いぶき運動』

- い いつもさわやか 明るいあいさつ (あいさつ運動)
- ぶ 部活動 輝け青春 育てよ友情 (積極的な活動)
- き きれいな学校 誇れる母校 (清掃強化)

『吹上中学校 校歌 3番』

伊吹の山よ 標茅が原よ 古歌もなつかし みどりの山河
みのりゆく 友情と 平和の理想
栃木の夢を になうもの 吹上中学 栄よ永遠に



下都賀地区中学校音楽発表会



9月26日(月)到下都賀地区中学校音楽祭が開催されました。そこで、本校の邦楽部が合奏の部のトップを切りまして、和楽器五重奏「あの虹の向こう側に」を発表しました。コロナ禍で演奏を披露する機会が少なくなってしまい、生徒たちは緊張していたようですが、顧問からは「今までの中で一番いい演奏ができました。」と聞きました。残念ながら中央祭へは出場できませんでしたが、いぶき祭で披露することになっていますので、楽しみにしています。

おやじの会奉仕作業



9月11日(日)、10月2日(日)に親父の会の皆様による奉仕作業がありました。校庭の除草作業はPTA奉仕作業でも行いましたが、その取り切れなかった部分を一気にやっていただきました。自転車小屋の修繕作業も昨年度行いましたが、その残った部分の修繕やペンキ塗りをしていただきました。日曜日の朝早くからの作業でしたが、多くの方にお集まりいただき、手際の良い作業であつという間に綺麗になり、大変助かりました。ありがとうございました。



栃木県少年の主張発表下都賀地区大会 最優秀賞

『多くの人が笑顔になりますように』 栃木市立吹上中学校 3年 ○○ ○○

「私の体の一部だったものが、私から離れ、どこかで誰かの笑顔を守っている。」そう考えると、私という小さな存在が、世界を構成するかけがえのないピースの一つであると感じて、私も笑顔になります。私は小さい頃から髪を伸ばしてきました。母は私の長い髪を巻いてまとめてくれたり、いろいろなアレンジをして結んでくれたりしました。小学生の時には、運動会や陸上競技大会など、行事の度に編み込みをしてもらうのが嬉しく、髪型を整えることで気合いが入ったことを覚えています。そうは言っても、ずっと長い髪だったことで、大変なこともありました。シャンプーするのも、乾かすのも時間が掛かるし、結ぶときに痛いこともありました。早く切りたい、短くしたいと思うことが何度もありました。中学校入学を機に髪を切ることにしました。そのときに母が言ったのです。「困っている人の為に髪の毛を寄付できるんだよ。」

皆さんは「ヘアドネーション」という言葉を知っていますか。私はそのとき初めて耳にしました。病気や治療薬の副作用などで髪の毛を失った子どもたちに「医療用ウィッグ」を無償で提供する活動です。カットした髪の毛の寄付を募集します。集まった髪は丁寧に処理をされて、「医療用ウィッグ」が作られます。「ヘアドネーション」の活動に賛同している美容室が家の近くにあったので、興味を持った私は相談してみました。髪の毛を寄付するには3センチメートル以上の長さが必要なこと。バラバラにならないように細かく束ねて切ること。丁寧な説明を受け、その場でカットしてもらいました。切った髪は「JHD&C (Japan Hear Do Nation&Charity)」へ封筒に入れて発送します。その際、ドナーシートへの記入が必要なのですが、ドナーという言葉に「誰かを救うのだ」と心が高ぶったのを覚えています。しかし、その時には発送することができませんでした。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、髪の毛の受け入れが一時的に停止されてしまったからです。仕方が無い、再開されるまで待とう、そう思って家で保管しておくことにしました。

それから暫くたったある日、図書館に行ったときのことで、『髪がつなぐ物語』という本が目にとまりました。表紙にはヘアドネーションのカットをする様子があり、すぐに借りて読むことにしました。大阪市でヘアサロンを営む美容師の渡辺さんとスタッフの思いから2009年、日本初のヘアドネーション団体が設立され活動が始まったそうです。一つのウィッグを作るのには50~200人の髪の毛の提供が必要になりますが、送られてきた沢山の髪の毛は、長さも太さも違い、髪質や色を統一する必要があります。トリートメント処理をして整えるには、海外へ発送して半年から1年、費用もかかります。髪の毛の提供、寄付金、賛同するサロンなどの協力が無いとウィッグは作れないのです。初めのうちは、一人分のウィッグが完成するまでに2年半かかったそうです。小児ガンや白血病、脱毛症や無毛症で悩む子などがウィッグを必要としています。2011年、東日本大震災の後から、寄付が増え、高校生の活動や企業による支援が拡大したそうです。命の大切さに目を向け、「誰かのために役に立ちたい」「笑顔になってくれたら嬉しい」と活動の輪が広がったのです。

先日、髪の毛の受け入れが再開され、私は保管していた封筒を「JHD&C」に送りました。今、私は健康で、幸せに暮らしています。だからこそ、それが失われた辛さを想像するのです。私は今、また髪を伸ばしています。そして必ず髪を送ります。私の行動で少しでも笑顔の人が増えることを願ってやみません。

9月17日(土)に県大会が開催され、『奨励賞』を受賞しました。おめでとうございます。



H's eye

緑豊かな環境 ~いいことばかりではない~

ご存じの通り、本校は小高い丘の上に建ち、周囲を緑に囲まれた恵まれた環境です。校庭に鳥のさえずりが響き渡り、爽やかな風が吹き抜けます。9月の初めに、北側駐車場にある物置の軒下にアシナガバチの巣を職員が発見しました。直径15cm程度で、巣をハチが完全に覆って群がっている状態でした。すぐ業者に依頼して駆除していただきました。本校は環境に恵まれているため、2か月ほどでこの大きさになるというお話でした。おそらく夏休みに入る前ぐら



いから作り始めたため、気が付くのも遅れてしまったのだと思います。以前、野ウサギが走り回って糞を残していったこともあります。夏の朝、職員室の網戸に大量のカナブンが張り付いていることもあります。この恵まれた環境を生かしつつ、生徒・職員が危険な目に遭わないよう、これらの生物と共存していかなければならないと思った出来事でした。